

# あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

## 主な記事

- ① あつひやく／厚真未来カレッジ
- ② 令和5年度全国学力・学習状況調査／盛興建設に感謝状贈呈／パークゴルフ場のオープン日について
- ③ 第27回室内ソフトボール大会／読書感想文コンクール
- ④ 厚真町育英資金貸付のご案内／就学援助のお知らせ／2月定例会教育委員会
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動報告

## 100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト「あつひやく」 第2回「学び場」具体化ミーティング開催！



2月27日（火）に、これからの厚真町の教育の未来を考える「あつひやくミーティング」を厚真町総合福祉センターで開催しました。今回は、昨年度から出された意見を参考に、「厚真でやったらワクワクする」「こんなことをやってみたい！」と思う取組を、参加者一人一人が企画するワークショップを行いました。このあつひやくでは、様々な立場の方がこの場に参加し、たくさんの思いを語り合ったり、これからの未来のことを考えたりする場ですが、それと同時に「小さなアクションを起こしていく」という場でもあります。3月26日（火）には、今年度最後となる第3回あつひやくを開催します。今回出された意見やアイデアの実現に向けて、皆さんと一緒に考えていく場にしたいと思っていますので、ぜひ、ご参加ください。



申込フォーム



詳細について

**あなたの「いいな！」と思う企画を教えてください！→**

第2回で実際に出された企画の概要をまとめています。お時間があれば、右のQRコードを読み取り、「いいな！」と思う企画を教えてください！



ぜひご協力を！

## 「あつひやく」から生まれた！ 第3回厚真未来カレッジ(アツカレ)～世界で活躍する熱中人～

2月24日（土）には、イギリスのロンドンと厚真町をオンラインでつなぎ、ロンドン大学教授の紅林さんを講師に、次世代コンピューターに関する特別授業を実施し、町内外からオンラインを含め約25人が参加しました。昨年度のあつひやくで「本物に触れる」というキーワードが多く挙げられたことを受けて、今年度から3回実施した厚真未来カレッジ。講師の方は皆、自分の好きなことにとことん熱中し、失敗を恐れずチャレンジすることの大切さを伝えてくれました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



当日の様子

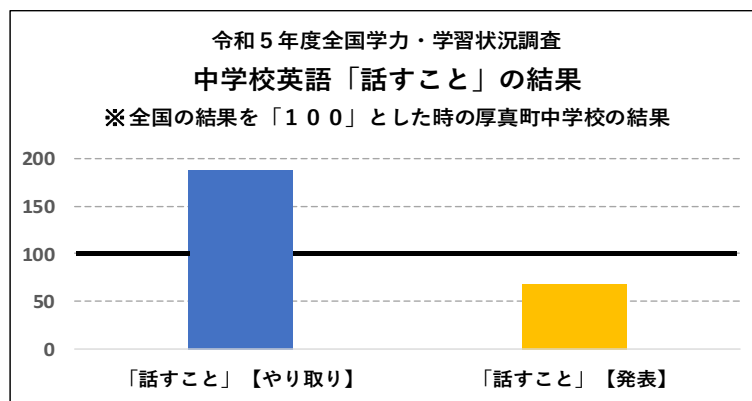
# 英語を活用し、グローバル社会に生きる子どもの育成を目指して

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から読み取る

昨年11月、厚真町教育委員会は令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を町のホームページに公表しました。

下記の資料のとおり、中学校第3学年で実施した英語「話すこと」においての、「やり取り」については全国（国公立）に比べ、かなり「高い」結果となっています。これまで継続して取り組んできた厚真PRプロジェクト学習におけるALTとのやり取り等、コミュニケーションに重点を置いてきた成果と考えられます。一方、「発表」については全国（国公立）に比べ「低い」結果となっています。そのため、自分の考えや思いを聞き手に向けて、話して伝える取組の充実が必要であると考えます。

教育委員会としましても、厚真町教育研究所の英語教育部会の機能を活かし、「英語を活用し、グローバル社会に生きる子どもたちの育成」のために、英語教育のより一層の充実を目指してまいります。



## 盛興建設株式会社に感謝状を贈呈

町は2月9日（金）、盛興建設株式会社の原 広吉代表取締役社長に感謝状を贈りました。

同社は、厚真高校の強歩大会路線の草刈りや厚真中央小学校と厚真放課後子どもセンターの施設周辺の清掃活動により景観と環境美化に貢献されました。

宮坂町長は、「社会貢献活動に感謝します」とお礼を述べて感謝状を手渡しました。



## パークゴルフ場オープン予定日のお知らせ

- 施設 上厚真パークゴルフ場  
新町町民広場パークゴルフ場  
本郷いこいの森パークゴルフ場
- 無料貸出について  
貸出用のクラブとボールは、スポーツセンター、厚南会館、青少年センターにあります。
- 期間 令和6年4月15日（月）～11月15日（金）

## 第27回 室内ソフトボール大会

教育委員会では、2月14日（水）～15日（木）の2日間、あつまスタードームで「第27回室内ソフトボール大会」を開催し、7チーム合計120人が参加しました。今大会は、7チームによるトーナメント形式で実施し、初戦から一進一退の攻防が繰り広げられ、どの試合も白熱した試合展開となりました。

決勝戦は、苫東石油備蓄と開発胆振農業・改良区連合との対決となりました。両チームとも一步も譲らざるの戦いで、試合終了時には、1対1の同点だったため、全選手によるじゃんけん決戦を行いました。決戦の末、今年度の優勝チームは苫東石油備蓄となりました。また、苫東石油備蓄の高橋正道さんは今大会唯一の本塁打を1本放ち、ホームラン賞を受賞する大活躍を見せました。



出塁を目指して、投手と真剣勝負

## 令和5年度 読書感想文コンクール

町内の小学生を対象に、「本に親しみ、豊かな心を育むこと」を目的に冬休み期間中に開催した「読書感想文コンクール」には、町内2校の小学校から20点の作品が寄せられました。応募いただいた児童の皆さん、ありがとうございました。

また、2月17日（土）には表彰式を行い、遠藤教育長から受賞した皆さんへ賞状と盾が手渡されました。なお、受賞した児童は下記のとおりです。

### 大賞作品

#### みかんおいしくな一れ

中田 芙緑

わたしがこの本をえらんだりゆうは、おとうとによんであげたいとおもったからです。

わたしのおとうとはみかんがだいすきです。いちどにたくさんたべたがります。さいしょは、かわをじょうずにおけなくて、かわのままたべたこともありました。いまはじょうずにおけるようになりました。

この本はみかんからいろんなたべものが出てくるおはなしです。みかんのかわをむいたらいちごだいいふくやメロンパンが出てきてびっくりしました。

わたしはおはなしをそうぞうすることがすきです。なにがでてきたらたのしいかかんがえてみました。もしみかんからロールケーキが出てきたらおもしろいとおもいました。ロールケーキをみんなでわけてたべたいです。

さむい日にストーブのまえでつめたいみかんをたべるのがすきです。こんどおとうとといっしょにたべるときには、おいしくな一れのおまじないをかけてあげたいです。

学年	入賞区分	児童氏名 (敬称略)	学校名
1年生	大賞	中田 芙緑	中央小
2年生	最優秀賞	大友 晴仁	中央小
	優秀賞	松辻 悠叶	上小
		杉村 颯	中央小
3年生	最優秀賞	鈴木 季楽	上小
	優秀賞	浅井 碧優	上小
		佐藤 優太郎	上小
4年生	最優秀賞	真野 悟	上小
	優秀賞	三浦 菫	上小
5年生	最優秀賞	鷹見 遙	中央小
	優秀賞	森崎 凜	上小
		小林 陽人	上小
6年生	最優秀賞	松岡 紗歩	中央小
	優秀賞	三浦 菜	上小



## 厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

### ●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
- (2) 高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
- (3) 専修学校専門課程（2年以上4年以内）
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者が在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

### ●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

### ●貸付月額

月額6万円を限度に1万円単位で希望する額

### ●利 息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

### ●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月月上旬にお振込いたします。

- ・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）
- ・早期貸付：初回貸付は6月中旬（4～6月分）

※早期貸付の場合、前年（令和5年）の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

### ●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

### ●提出書類

- (1)申請書（町HPからダウンロード又は、教育委員会に用紙があります）
- (2)在学証明書（進学先の証明書）
- (3)成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）
- (4)健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）
- (5)課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

### ●申込期限

令和6年5月31日（金）まで（ただし、早期貸付（6月）を希望される場合は4月30日（火）までに申請が必要です。）

### ★申込・問合せ 学校教育グループ

☎27-2494

町ホームページ（厚真町育英資金貸付）↑



## 2月定例教育委員会

2月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

### ◆報告事項

2月校長会議・教頭会議について／食物アレルギー研修会／令和5年度第5回厚真町教育研究所運営委員会／第2回厚真町心のサポート・防災学習推進協議会／令和5年度新体力テストに係る厚真町の児童生徒の概況について／第43回厚真町スケート記録会／100の学び場プロジェクト／小学校3年生社会科授業「昔の道具しらべ」／第27回室内ソフトボール大会／読書感想文コンクール表彰式／土器づくり体験会

### ◆協議

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」の市町村別結果の掲載について

### ◆その他

入学式・卒業式の出席委員について／地域貢献表彰について（盛興建設株式会社）

### ★問合せ

学校教育グループ ☎27-2494

## 令和6年度就学援助のお知らせ

教育委員会では、次のいずれかに該当する世帯に対して学用品費等を援助しています。

### ●対 象

- (1)生活保護が停止が廃止になった世帯
- (2)町民税が非課税が減免になった世帯
- (3)個人事業税や固定資産税が減免になった世帯
- (4)国民年金保険料の免除、国民健康保険料が減免、又は徴収が猶予された世帯等
- (5)その他経済的に困りの世帯

### ●援助内容

学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費等

### ●提出書類

- (1)令和6年度要保護及び準要保護児童生徒認定申請書（各学校にあります）
- (2)前住所における令和6年度（令和5年分）課税所得証明書（令和6年1月2日以降に転入された方のみ）
- (3)対象の世帯であることが証明できる書類の写し

### ●提出期限

4月8日（月）～5月31日（金）

### ●提出先

就学先の学校に提出してください。

### ●その他

申請後に審査が行われ決定します。就学援助の決定を受けた方で高等学校等に進学される方は、「厚真町木本建設入学準備金」を給付しますので、改めてお知らせします。

### ★問合せ

学校教育グループ

☎27-2494

町ホームページ（就学援助制度）↑



# 図書室だより



縄文・アイヌ文化関連本コーナーを整備しています！



厚真町と深いかわりのある縄文文化、アイヌ文化の関連本は図書室の中に点在していましたが、図書室内の整理に合わせてそれぞれを一段の書架に収めることにしました。

縄文文化の関連本は、縄文世界遺産や北海道の縄文遺跡のことはもちろん、遺跡調査に携わる人の本、地層や発掘された土器や土偶の本を集めました。

アイヌ文化関連本は、アイヌ語や地名の本、昔から伝わる話や現代創作された民話、知里幸恵「神謡集」の手書きノートを複製した本などを集めました。

本のタイトルに「縄文」や「アイヌ」と書かれていなくても、それぞれの文化をさらによく知るために知っておいてもよさそうな本も収集対象です。縄文文化もアイヌ文化もどちらにもゆかりがある厚真町ですので、厚真町ならではのコレクションを構築していければと思います。

- ・書架の場所：青少年センター図書室 A-1 左側
- ・検索では配架場所に「縄文」「アイヌ」と表示されます

## 絵本コーナーの整理について

厚南会館での図書活用の一環として、青少年センターで使用していた絵本コーナーに配置しているワゴンをもとにワゴンに収納していた絵本については、図書室内の他の棚へ移動作業を行っています。

絵本の廃棄作業ではありませんので、お目当ての絵本が見つからない場合は、青少年センター図書室カウンターまでご連絡ください。

## 図書利用カードを作りますか？

青少年センター図書室を利用したい方ならどなたでも図書利用カードを作ることができます。

住所を確認できる物(免許証、マイナンバーカード、郵便物など)を持って、青少年センター図書室カウンターまでお越しください。5分ほどで発行いたします。

厚南会館窓口でも申請できますが、青少年センターで作成しますので、カードのお渡しまでにお時間をいただきます。ご了承ください。

### ■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

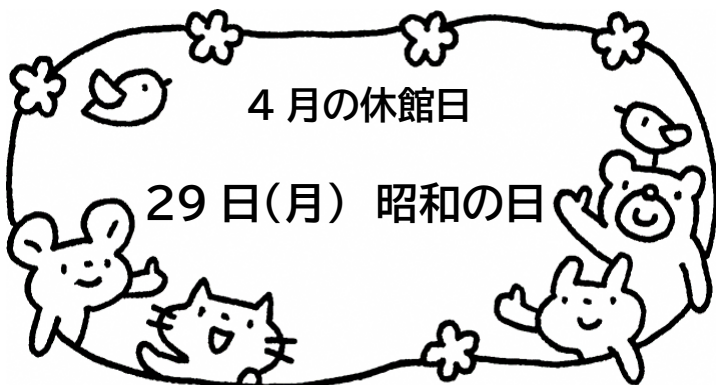
9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

### ■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。



4月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、  
25日(木) 10時00分から10時30分まで  
場所：厚真子育て支援センター

# ☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

春のような暖かさを感じる日もあれば、急に冬の寒さに逆戻り。雪が降っては解け、三寒四温を繰り返して、少しずつ季節が進んでいきます。春の訪れが待ち遠しいです。町内の小学校では、卒業式が執り行われ、今年も子どもたちが巣立っていきました。ときにお互い、ありのままの自分でぶつかって、信頼関係を築いていった子どもたちの成長は、私たちの心を明るく照らしてくれます。活動を通して、たくさんの学びを与えてくれた子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも愛らしい素直さと、相手を理解しようとする姿勢を忘れずにいてほしいと願っています。

放課後子ども教室が始まって12年。これまでに、約600人の子どもたちと出会い、様々な活動と一緒につくってきました。本当に良い友だちに恵まれたと思っています。小学生のときに会った子どもたちが、中学生、高校生、大学生、社会人になり、成長した姿を見る機会も増えてきました。子ども教室の活動を手伝いに来てくれる卒業生もいます。12年前、子ども教室を始めた頃、いつか、目の前にいる子どもたちが大きくなって、今度はスタッフとして、私たちの横に立ち、後輩たちの遊び場を支える側になってくれたら素敵だな、と思い描いていた夢が今、少しずつ形になっています。

さらには、子ども教室に参加していた経験や、高校時代に触れた学びをきっかけに、社会教育や自然体験活動に興味を持ち、進路を決めたという子がいたり、将来、自分が目指す保育の仕事に活かすために、ボランティアとして参加したいと連絡をくれる子がいたり、巣立っていった子どもたちにとって、また違う形で役に立てる機会に巡り合えるのは、とても嬉しいことです。目の前にいる子どもたちの“今”に向き合い、ときには一緒にってはしゃいだり、喜んだり、ときには子どもも大人も関係なくケンカをしながら、子どもたちとともに放課後子ども教室という場を育ててきました。育ったまちへの愛着のタネと、好奇心のタネを蒔き続けてきた結果、決してたくさんではないけれど、1つ、2つと小さな芽が芽吹いてきているように感じています。今後の活動を考えるうえで、これ以上、励みになることはありません。目の前にいる子どもたちの少し先の“未来”を感じさせてくれる、大きくなった子どもたちの姿に、私はそっと救われています。

巣立っていく子どもたちがいれば、新たな子どもたちとの出会いが待っている春です。次のステップへ向けて、期待に胸を膨らませ、子どもたちが大いに遊んで、人と人との関わりから学ぶ場を、これからもつくっていきたいと思います。

